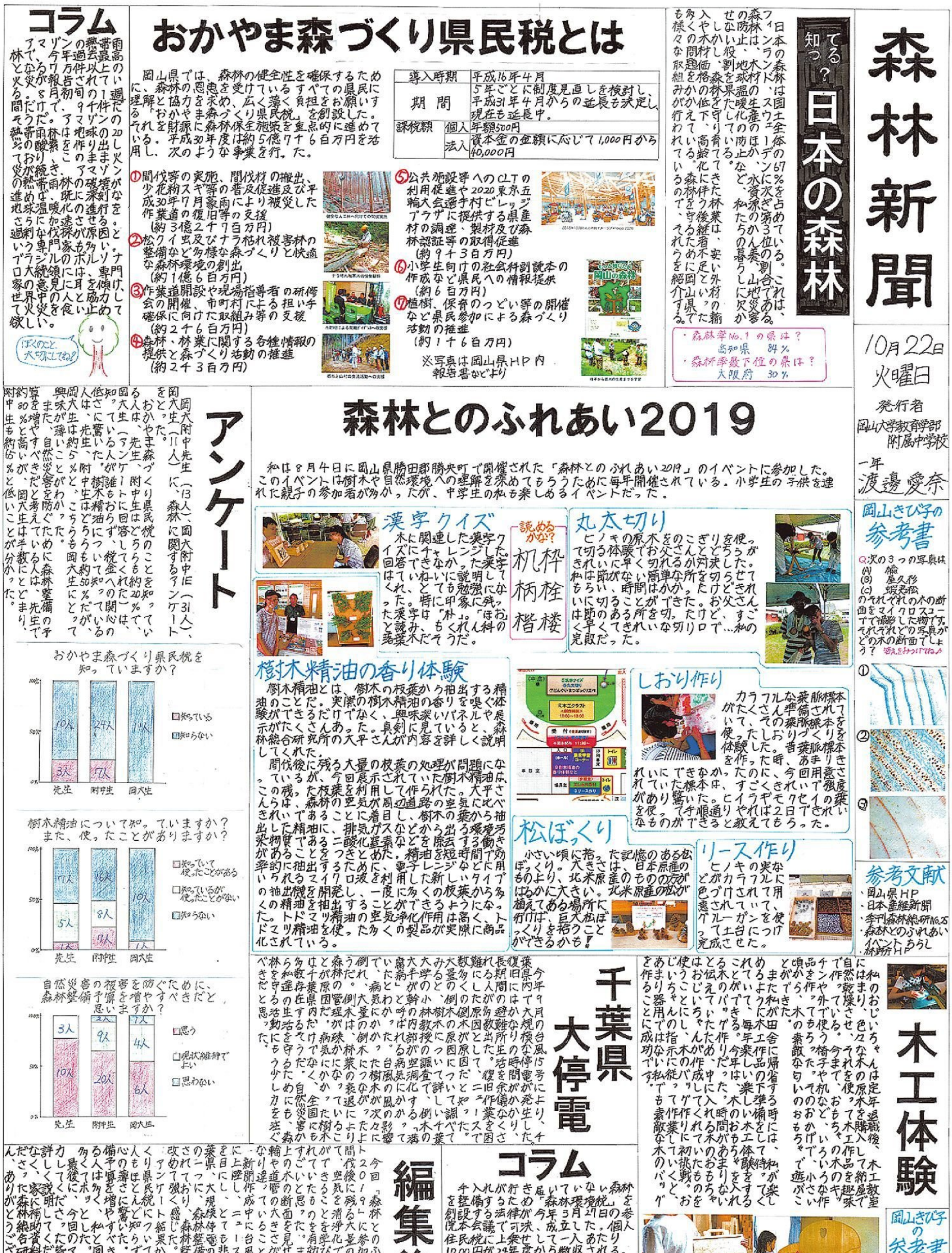
中学校・岡山市長賞

森林新聞

岡山市・岡山大付属中１年　**渡邊　愛奈**



森林新聞

10月22日 火曜日

発行者 岡山大学教育学部附属中学校

一年 渡邊愛奈

知ってる？日本の森林

日本の森林は国土全体の67％を占めている。これは、フィンランド、スウェーデンに次ぎ第3位の割合である。森林は、木材の生産のほか、水資源のかん養、山地災害の防止、地球温暖化の防止など、私たちの暮らしに欠かせない役割を果たしている。

しかし、森林を守り育ててきた林業は、安い外材の輸入や木材価格の低下、高齢化に伴う後継者不足といった多くの問題をかかえている。森林を守るために岡山県でも様々な取組みが行われているので、それらを紹介する。

・森林率No.1の県は？
高知県　84％
・森林率最下位の県は？
大阪府　30％

おかやま森づくり県民税とは

岡山県では、森林の健全性を確保するために、森林の恩恵を受けているすべての県民に理解と協力を求め、広く薄く負担をお願いする「おかやま森づくり県民税」を創設した。それを財源に森林保全施策を重点的に進めている。平成30年度は約5億7千6百万円を活用し、次のような事業を行った。

導入時期		平成16年4月
期間		5年ごとに制度見直しを検討し、平成31年4月からの延長も決定し、現在も延長中。
課税額	個人	年額500円
	法人	資本金の金額に応じて1,000円から40,000円

①間伐等の実施、間伐材の搬出、少花粉スギ等の普及促進及び平成30年7月豪雨により被災した作業道の復旧等の支援（約3億2千7百万円）

②松クイ虫及びナラ枯れ被害林の整備など多様な森づくりと快適な森林環境の創出（約1億6百万円）

③作業道開設や現場指導者の研修会の開催、市町村による担い手確保に向けた取組み等の支援（約2千6百万円）

④森林、林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進（約2千3百万円）

⑤公共施設等へのCLTの利用促進や2020東京五輪大会選手村ビレッジプラザに提供する県産材の調達、製材及び森林認証等の取得促進（約9千3百万円）

⑥小学生向けの社会科副読本の作成など県民への情報提供（約6百万円）

⑦植樹、保育のつどい等の開催など県民参加による森づくり活動の推進（約1千6百万円）

※写真は岡山県HP内報告書などより

コラム

アマゾンの熱帯雨林で、今年過去最高となる7万件以上の火災が報告されている。8月初旬の1週間だけで、9千件だそうだ。アマゾンの熱帯雨林は地球の20％の酸素を作り出しており、このまま火災が続き、アマゾンの熱帯雨林の破壊が進めば、既に深刻な地球温暖化の進行をさらに加速させる。過剰な伐採が原因という専門家も多い。ブラジルのボルソナロ大統領には、専門家の意見に耳を傾け、世界中の人と協力して火災を食い止めて欲しい。

ぼくのこと、大切にしてね♪

森林とのふれあい2019

私は8月4日に岡山県勝田郡勝央町で開催された「森林とのふれあい2019」のイベントに参加した。このイベントは樹木や自然環境への理解を深めてもらうために毎年開催されている。小学生の子供を連れた親子の参加者が多かったが、中学生の私も楽しめるイベントだった。

漢字クイズ

木に関連した漢字クイズにチャレンジした。回答できなかった漢字はていねいに説明してくれ、とても勉強になった。特に印象に残った漢字は「朴」。「ほお」と読み、もくれん科の落葉木だそうだ。

読めるかな？
机　枠
柄　栓
楷　楼

丸太切り

ヒノキの原木をのこぎりを使って切る体験でお父さんとどちらがきれいに早く切れるか対決した。私は節がない簡単な所を切らせてもらい、時間はかかったけどきれいに切ることができた。お父さんは節のある所を切ったけど、すごく早くてきれいな切り口で…私の完敗だった。

樹木精油の香り体験

樹木精油とは、樹木の枝葉から抽出する精油のことだ。実際の樹木精油の香りを嗅ぐ体験ができるだけでなく、興味深いパネルや展示がたくさんあった。真剣に見ていると、森林総合研究所の大平さんが内容を詳しく説明してくれた。

間伐後に残る大量の枝葉の処理が問題になっているが、今回展示されていた樹木精油は、この残った枝葉を利用して作られた。大平さんらは、森林の空気が周辺道路の空気に比べきれいであることに着目し、樹木の葉から抽出した精油に、排気ガスなどから出る環境汚染物質である二酸化窒素などを除去する働きがあることをつきとめた。精油を短時間で効率的に抽出するために、電子レンジなどに用いられるマイクロ波を利用した新しいタイプの抽出機を開発し、一度に多くの枝葉から多くの精油を抽出することができるようになった。トドマツ精油の空気浄化作用は高く、トドマツ精油を使った多くの製品が実際に商品化されている。

しおり作り

カラフルな葉脈標本がたくさん準備されていて、その葉脈標本を使ったしおりづくりを体験した。昔葉脈標本を作った時、あまりきれいにできなかったのに、今回用意されていた標本は、すごくきれいで強度があり驚いた。ヒイラギモクセイの葉を使って手順通りやれば2日できれいなものができると教えてもらった。

松ぼっくり

小さい頃に拾った記憶のある松ぼっくり。大きさは、日本原産のものより、北米原産のものの方がはるかに大きい。北米原産の松が植えてある場所に行けば、巨大松ぼっくりを拾うことができるかも！

リース作り

ヒノキの実などがカラフルに色づけされて用意されていて、グルーガンを使って土台につけ完成させた。

岡山きび子の参考書

Q.次の3つの写真は
(A)　檜
(B)　屋久杉
(C)　蝦夷松
のそれぞれの木の断面をマイクロスコープで撮影した物です。それぞれどの写真がどの木の断面でしょう？　答えをみつけてね♪

①
②
③

参考文献

- 岡山県HP
- 日本産経新聞
- 季刊森林総研No.25
- 森林とのふれあいイベントちらし
- 林野庁HP

アンケート

岡大附中先生（13人）、岡大附中生（31人）、岡大生（11人）に、森林に関するアンケートをとった。

おかやま森づくり県民税のことを知っている人は、先生、附中生はどちらも約20％で、岡大生（アンケートに回答してくれた）は、知っている人が誰もおらず、税金への関心の低さに驚いた。樹木精油について知っている人は、先生、附中生はどちらも約50％だが、岡大生は約5％と、こちらも岡大生にとって興味が薄いことがわかった。

また、自然災害を防ぐために森林整備の予算を増やすべきだと考えている人は、先生で約80％と高いが、岡大生は半数にとどまり、附中生も約65％と低いことが分かった。

おかやま森づくり県民税を知っていますか？

	先生	附中生	岡大生
知っている	3人	7人	
知らない	10人	24人	11人

樹木精油について知っていますか？また、使ったことがありますか？

	先生	附中生	岡大生
知っていて使ったことがある	1人	7人	1人
知っているが使ったことがない	5人	8人	
知らない	7人	16人	10人

自然災害の被害を防ぐために、森林整備予算を増やすべきだと思いますか？

	先生	附中生	岡大生
思う	10人	20人	6人
現状維持でよい	3人	9人	4人
思わない		2人	1人

木工体験

私のおじいちゃんは定年退職後、木工教室にはまり、色々な木の原木を購入して納屋で自然乾燥させ、それを使って木工作品を趣味で作っている。今まで、おもちゃの木のキッチンや外で使う椅子や机など、いろいろな作品を作ってもらった。そのおかげで、小さい頃から、木の素敵な匂いのおもちゃで遊ぶことができた。

また私が田舎に帰省する時には、私が楽しめるように木工作品の下準備をして待ってくれている。毎年楽しい木工体験をすることができる。今年は、木のおもちゃを入れる木のバッグ作りだった。時間があまりないと伝えていたため、中に入れる木のおもちゃはおじいちゃんが作成してくれていたものを使うことにし、木のバッグ作りに初挑戦。おじいちゃんの指示に従って作業していくと、あまり器用ではない私でも素敵な木のバッグを作ることに成功です。

今年作った木のバッグ

木のキッチンで遊ぶ小さい頃の私と姉

千葉県大停電

今年9月の台風15号により、千葉県内で大規模な停電が発生した。復旧には、かなりの時間がかかり、長期間の避難所生活を余儀なくされる人が多数出た。復旧作業を困難にした原因として、ニュースで数多くの倒木が原因だと知った。大量の倒木の原因について調べてみると、樹木について詳しい千葉大学の小林教授の調査で、倒木の大半が幹の内部が空洞化する「溝腐病」と呼ばれる病気にかかっていたとわかった。台風の影響によって、病気にかかった樹木が次々に倒れ、大量の倒木につながったようだ。倒木は、林業の衰退により森林の管理が疎かになっていることが原因だ。病気にかかった樹木は千葉県内だけでなく、全国にも多数存在するそうだ。自然災害から私達の生活を守るためにも、森林を守る活動にもう少し力を注ぐべきだと思った。

コラム

手入れが行き届いていない森林を整備するため「森林環境税」を創設する法律が今年3月27日の参院本会議で可決、成立した。個人住民税に上乗せして一人あたり1000円が24年度から徴収される。19年度から徴収開始までの5年間は、国の特別会計の借金を使い、森林環境譲与税として都道府県や市町村に配分し、森林環境税が創設された後、税収の一部を使いその借金を返すことも決まっている。

編集後記

今回「森林とのふれあいイベント2019」に参加して、森林の間伐後に残る大量の枝葉を活用して、空気を清浄化できる樹木精油ができることを学び、不要と思われていたものを有効活用していてすごいと思った。また、50種類以上の木の断面を見せてもらい、年輪や道管の大きさが、木ごとにかなり違っていることに驚いた。

新聞作成中に台風が何度も日本に上陸し、ニュースで大変な惨状を目にし、とても悲しかった。千葉県の大規模停電も長期化の原因の一つに、森林整備の不備が指摘されており、森林整備の大切さを改めて強く感じた。

アンケート結果から、岡山森づくり県民税について知っている人もほとんどおらず、税金への関心の薄さに驚いた。森林整備予算を増やすべきだと思っている人は多く、私と同じ考えの人が多くてホッとした。

最後に、今回のアンケートに協力してくださった皆さん、会場で詳しく説明してくださっただけでなく、家に補助資料まで送ってくださった森林総合研究所の大平さん、ありがとうございました。

岡山きび子の参考書

A.答え
①　B
②　A
③　C

寸評

おかやま森づくり県民税を切り口に、イベント取材などを通じて岡山県の森林の魅力をきれいなレイアウトで紹介しています。中学生や大学生の意識調査も行っており、問題意識の高さが伺えます。

（C）山陽新聞社　無断複製・転載を禁じます。

2020年2月22日掲載